

NPO 法人 三陸ボランティアダイバーズ平成 26 年度活動計画

2014. 5. 24

今年度の活動は、これまでの活動を少しずつ改良していく内容と、新たに加わる予定の活動があります。

■継続した活動

✓ 瓦礫撤去（大船渡周辺、竹浦）

未だ瓦礫が漁港内には多く、漁業の妨げとなっているので、要請あれば撤去作業を継続している。今後も活動する漁港は増えて行く可能性が高い。

✓ 養殖施設手伝い

養殖施設設置箇所のに海中検査、養殖施設に瓦礫が引っかかった際の撤去、等

✓ 漁業体験

ワカメ漁は、ロープ一本分を三ボラのために確保して頂いているので、冬に参加者を募る一番の企画となる。

✓ 講演活動、PR

全国からの講演依頼やイベント参加に対応し、三陸の海の PR を行う。
昨年度は県内での写真展示会等に手応えがあり、今年度も県内は注力する。

■今年度、新規に予定してる活動

✓ アワビの放流事業（大槌町）

大槌漁協に依頼され、アワビの放流を共に担う。

6月～7月、週に1度ほど活動を予定し、合計約4回。

三ボラの参加者も一緒に潜水にて稚貝を放流でき、一緒に楽しむことが可能。

事前に、facebook や HP 等で参加者を募集する予定。

✓ 岩手県内中学生のボランティアマッチング。

岩手県内陸の中学校が、学校単位で沿岸部のボランティアに参加する意向がある。三ボラと一緒に活動を希望しているが、漁協との間をとりもって漁協と直接行ってもらう可能性もある。

- ✓ 養殖、牡蠣・ホタテ・ホヤ等の撮影のお手伝い（米崎漁港）
陸前高田市米崎漁港の牡蠣、越喜来漁協のホタテ、綾里漁協ホヤ等の養殖中の姿を撮影し彼らの海産物販売の協力をする。
カメラの技術があるダイバーがボランティアとして参加してもらう予定。
※観察ツアーとして有料で参加可能

- ✓ 生物調査（ライン調査等）
大槌漁港から、船越湾の海底の生物調査の依頼があった。震災後の漁場にどのような変化があったか調査することが目的。
専門的なので、潜水土等の参加が望ましいが、経験あるファンダイバーでも調査参加を予定している。
日程等は今後調整。

- ✓ 浪板海岸にダイビングの拠点を設置
ファンダイブ等で利用頻度の高い浪板海岸に、ダイバーズハウス、ネイチャーセンター等を設置して、今後の岩手ダイビングの拠点としていくことを想定。
シャワー、トイレ、休憩所としての利用を予定。
時期は、港湾復旧工事終了後となるので、確認中。
費用は300万程度を想定しているが、費用の捻出が課題。

- ✓ 磯焼け対策として尻高貝の駆除
沿岸海域に生息する海藻の多くが死滅し、それに伴ってアワビなどの水棲生物が減少し、漁業に大きな打撃を与える「磯焼け」対策として、尻高貝の駆除作業を予定。